

## 人事院契約監視委員会 第17回会議 議事概要

### ○ 開催日

平成28年6月15日（水）

### ○ 場 所

人事院本院（中央合同庁舎第5号館別館）第二特別会議室

### ○ 人事院契約監視委員会（敬称略）

委員長 田邊國昭（東京大学大学院法学政治学研究科  
東京大学公共政策大学院教授）  
委 員 工藤裕子（中央大学法学部教授）  
小林 覚（小林覚法律事務所弁護士）

### ○ 会議概要

#### 1 平成27年度下半期に人事院が締結した契約の審査

事務局から、平成27年度下半期の契約案件に関し、総件数（19件）及び内訳（一般競争契約15件、競争性のある随意契約（企画競争・公募）2件、競争性のない随意契約2件）並びに入札及び契約手続の概況等が報告され、（1）のとおり了承された。

続いて、委員長提案に基づき、これらのうち3件の契約案件を個別審査の対象とすることが決定された。（2）に記載したこれら3件に関して、事務局及び各調達原課から、契約の内容、手続等について説明が行われ、概略（3）のような質疑を経て、了承された。

#### （1）平成27年度下半期の契約案件に係る概況の報告

特に意見や質問はなく、報告は了承された。

#### （2）個別審査案件

##### 〔随意契約〕

- ① 契約件名 : 中央合同庁舎第5号館別館における入退館管理システムの改修業務（競争を許さない随意契約）  
契約相手方 : NTTデータカスタマサービス株式会社  
契約金額 : 14,878,404 円

契約日：平成27年12月1日  
担当部局：会計課管財班

〔一者応札〕

- ② 契約件名：判定検索データベースのソフトウェア更改等作業  
契約相手方：株式会社大塚商会  
契約金額：4,320,000円  
契約日：平成27年12月22日  
担当部局：公平審査局
- ③ 契約件名：インターネット及び政府共通ネットワーク向けファイアウォール機能統合にかかる人事院ネットワークシステム設定変更業務  
契約相手方：新日鉄住金ソリューションズ株式会社  
契約金額：3,056,400円  
契約日：平成28年2月8日  
担当部局：総務課情報管理室

(3) 個別審査の概要

- ① 中央合同庁舎第5号館別館における入退館管理システムの改修業務（競争を許さない随意契約）

| 委員の意見・質問   | 担当部局の回答・説明  |
|--|---|
| ・他の府省でも同じようにマイナンバーカードを利用した職員身分証に移行するのか。          | ・マイナンバーカードを利用した身分証に移行することは政府の決定で、他府省も移行することとなる。                       |
| ・府省ごとに移行していくのか。                                  | ・現行の身分証の有効期限等を考慮しながら、府省ごとに移行することとなる。                                  |
| ・人事院においては、28年度中には移行を終わらせるということか。                 | ・そのとおり。現在は現行の身分証との並行使用期間である。  |
| ・霞が関全体で同一のシステムを導入した方が安全性の面からもよいと思うが、庁舎の業者が異なるのか。 | ・定かではないが、4、5社はあると聞いている。庁舎ごとの現行システムの状況によって、今回の対応のために必要となる改修の内容も異なってくる。 |
| ・政府全体で行った場合と各府省独自に行った場合のどちらがコストが低くなるのか、計算した方が    | ・今回の改修に当たって、内閣官房IT戦略室において、27年度中に改修を行う府省の改修をまとめて行うことも検討                |

|        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 良いと思う。 | したが、結果として各府省が各々行うこととなった経緯がある。 |
|--------|-------------------------------|

(結論) 政府全体で同一のシステムを導入したほうがコスト面でよいのではないかとも思われるが、検討の上での選択ということであるので、本案件については、委員会の意見としては特に問題なしとする。

② 判定検索データベースシステムのソフトウェア更改等作業（一般競争契約（一者応札））

| 委員の意見・質問  | 担当部局の回答・説明   |
|---|--|
| ・落札者の大塚商会は新規参入か。  | ・新規参入である。  |
| ・仕様書の作成に当たってはCIO補佐官の意見は聞いているか。  | ・CIO補佐官の意見を聞き、複数の業者からも意見を聞いた。  |
| ・パッケージソフトとしたメリットが感じられない。  | ・今回は特別に構築するものがなかったことから、汎用性を考えパッケージソフトとした。システム変更を行う際に特注のシステムより安価だろうということも考慮した。なお、ある程度の変更は保守の範囲で行えることとなっている。 |
| ・仕様書を見る限りさほど特殊なシステムとは思えないので、中小の業者でもできそうな気がするが、入札辞退の理由として何か特徴的なものはあるか。 | ・辞退理由としては、資料にあるとおり、他の案件があり見積工数が取れない、社内リソースがないというものがあつた。業者の中には専ら今後の参考という目的で入札説明書を手に入れるという業者もある。             |

(結論) もう少し入札してもらえないものかという感じは拭えないところではあるが、3回目の入札で決定したという経緯も考慮し、委員会の意見としては特に問題なしとする。

③ インターネット及び政府共通ネットワークシステム向けファイアウォール機能統合に係る人事院ネットワークシステム設定変更業務（一般競争契約（一者応札））

| 委員の意見・質問                         | 担当部局の回答・説明                           |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| ・見積書を提出した業者が落札している場合にも、見積書の金額と落札 | ・見積書の金額は市場一般の価格に基づいた金額で提出するが、入札となると他 |

|  |   |
|--|---|
| 金額に差が生じるのはなぜか。   | 社との競争を見越して営業努力し、見積書よりも低い金額を記入する場合があるためと思われる。                              |
| ・入札説明書を受領しながら入札しなかった業者には全て理由を聞いているのか。  | ・聴取可能な業者に問い合わせ、かつ、回答を得られたところに限られる。  |
| ・金額的に小規模なものを毎回毎回入札とするのは手間もかかるだろうし、業者としても多くの案件に対応できないということを考えると、一つの大きな契約にして、保守的に個々に対応するなど、もう少し合理的にできないのか。 | ・同じシステムならともかく、違うシステムとなると難しいものがある。また、大きな案件とすると、一定規模以上の業者が受注しやすくなるということもある。 |
| ・中小企業が参入しやすいように条件を揃えているはずの案件で、実際にはそうになっていない気がする。中小の業者はよほど営業努力しないと単価が高くなりがちであり、これは仕方ないかも知れない。             |   |
| ・見積書を提出した業者は、入札説明書を受領した業者の中に入っているのか。   | ・入っている。   |
| ・入札を辞退しても見積書を提出した業者はあるのか。  | ・入札説明書を受領し、見積書も提出したが、実績が無い等の理由で入札しなかった業者がある。                              |
| ・発注の時期が年度末近くだが構築のスケジュールがきついのではないのか。  | ・前もって検討してはいたが、緊急に対応しなくてはならない案件が生じ、そちらを優先したため、結果として入札時期が遅れたことは否めないところ。     |
| ・年度末近くになればなるほど1社応札になる傾向があるのではないかと思う。事情は察するが、なるべく入札時期を分散したほうが良いと思う。                                       |   |

(結論) 入札に付した時期についてはよりよいやり方があったかとは思われると

ころであるが、委員会の意見としては特に問題なしとする。

○ 委員会からの意見具申及び勧告

特になし。

2 平成27年度人事院調達改善計画の自己評価結果

事務局から、「平成27年度人事院調達改善計画」の達成状況に関する自己評価結果<sup>(※)</sup>について説明し、了承された。

(※) 人事院ホームページ「平成27年度調達改善計画の自己評価結果」に掲載

以 上